

資源ごみの売却量

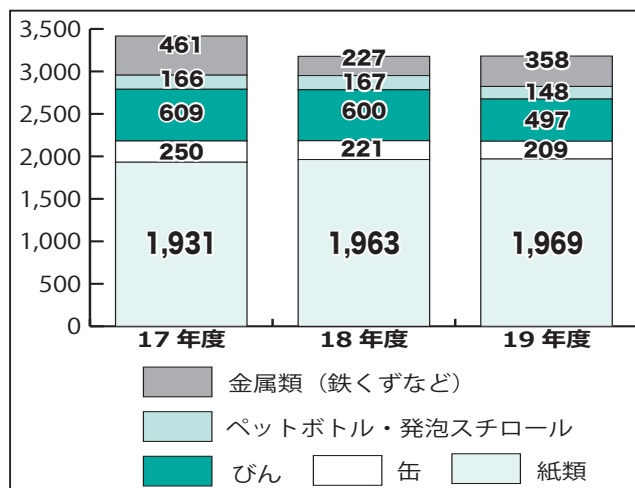


▲環境衛生センターに集められたびん。リサイクル業者に引き渡します。

図2と表3は資源ごみの売却量と売却金額の推移を表したものです。売却金額が大幅に増加していますが、これは売却単価が上昇したためです。一方、平成19年度の年間の売却量は18年度とほとんど変わっていませんが、平成20年1月からの分別方法の変更により、最近では、資源ごみとして出される雑紙の量が大幅に増加しています。

人口	67,610 人
世帯数	27,581 世帯
年間ごみ排出量	26,839 トン
(平成19年3月31日現在)	

【図2】資源ごみの売却量の推移（単位：トン）



【表3】資源ゴミの売却金額（単位：万円）

	紙類	缶	びん	ペットボトル・発泡スチロール	金属類（鉄くずなど）	合計
17年度	378	1,021	227	250	489	2,365
18年度	1,595	1,455	163	795	345	4,353
19年度	2,968	1,590	101	645	890	6,194



▲圧縮処理されたペットボトルも売却されます。